

平成23年行政事業レビューシート

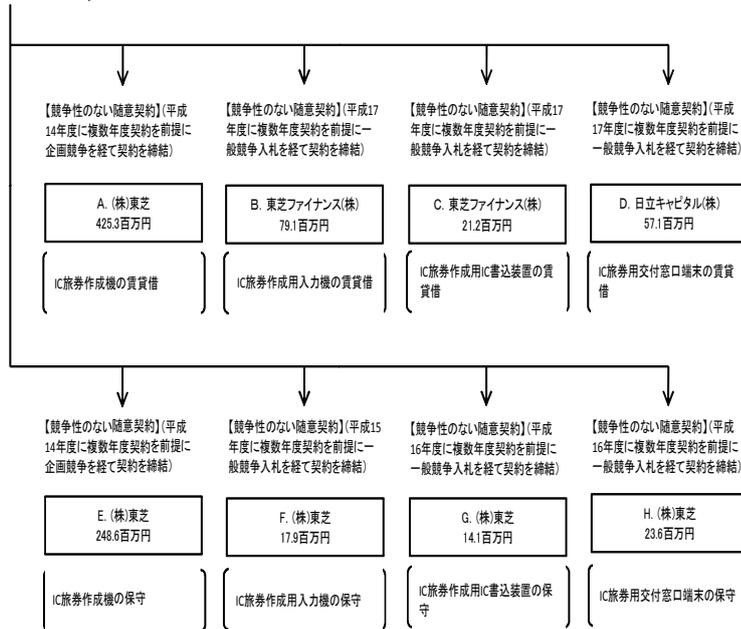
(外務省)

<b>事業名</b>	旅券作成機関係経費		<b>担当部局</b>	領事局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>			<b>担当課室</b>	旅券課		課長 清水 洋樹		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IV-1 領事サービスの充実				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	外務省設置法第4条第12項 外務省組織令第13条第9項 旅券法		<b>関係する計画、 通知等</b>					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)</b>	旅券の作成(印刷)を行う機器の賃貸借及び保守等を実施し、旅券発給にかかる安定的な運用を維持する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	外務本省、国内旅券事務所60か所及び185か所の在外公館に配備し、旅券の発給を受けようとする者から申請のあった書類等を元に旅券を作成(印刷)する機器(入力機、印刷機、IC書込装置、交付窓口端末)の賃貸借及び保守を行い、年間400万冊以上の旅券発給業務を行っている。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予 算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
		計	911	905	897	612	613	
	執行額	901	906	887				
	執行率(%)	98.9%	100.2%	98.9%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	旅券は申請に基づき発給されており、その発給数は国民の申請需要に対応していることから、政策的な定量的成果目標の設定には馴染まない。なお、IC旅券の発給は、毎年1,500万人超の海外渡航者の円滑な出入国に資するものとする。右欄は暦年の海外渡航者数。			万人	1,598.7	1,544.6	1,663.7	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国内及び在外におけるIC旅券発給数。			冊	4,001,789	4,139,406	4,170,762 (4,087,000)	- (4,185,881)
<b>単位当たり コスト</b>	(212円/冊)		算出根拠	22年度執行額(886,809千円)÷22年度IC旅券発給数(4,170,762冊) 【参考】IC旅券関連予算全体(事業番号:62・610・612・614・626・628・629・634・636・653・666・673)で見た場合の単位当たりコストは2,400円(=22年度執行額(10,008,147千円)÷22年度IC旅券発給数(4,170,762冊))				
<b>平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳 (単位: 千円)</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	借料及び損料	51,024	49,681					
	雑役務費	561,019	563,342					
	計	612,043	613,023					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>今後システムの刷新又は現行機器の入替等を行う際には、現行機器導入時と同様競争性のある調達方式により導入業者を決定するとともに、複数年度契約を前提とする場合には国庫債務負担行為を取得する等、更に効率的な運用を目指す。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り			
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○入力機 申請書の読み取り、旅券作成に必要なデータ入力及びホストコンピュータシステムへのデータ送受信を行うための機器。</p> <p>○印刷機 旅券冊子に顔画像、氏名等を印刷するための機器。各種偽変造防止のための特殊な印刷処理を行っている。</p> <p>○IC書込装置 旅券冊子内のICチップに必要なデータを書き込むための装置。</p> <p>○交付窓口端末 作成された旅券のICチップに書き込まれたデータの内容を確認するための端末機。旅券申請者も自らの旅券のICデータの確認を行うことができる。</p>			

外務省  
886.8百万円

旅券作成用機器の運用維持



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごと  
 に最大の金額が支出され  
 ている者について記載す  
 る。費目と使途の双方で  
 実情が分かるように記  
 載)

A.(株)東芝			E.(株)東芝		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	IC旅券作成機の機器借料	425.3	雑役務費	IC旅券作成機の機器保守料	248.6
計		425.3	計		248.6
B.東芝ファイナンス(株)			F.(株)東芝		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	IC旅券作成用入力機の機器借料	79.1	雑役務費	IC旅券作成用入力機の機器保守料	17.9
計		79.1	計		17.9
C.東芝ファイナンス(株)			G.(株)東芝		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	IC旅券作成用IC書込装置の機器借料	21.2	雑役務費	IC旅券作成用IC書込装置の機器保守料	14.1
計		21.2	計		14.1
D.日立キャピタル(株)			H.(株)東芝		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	IC旅券用交付窓口端末の機器借料	57.1	雑役務費	IC旅券用交付窓口端末の機器保守料	23.6
計		57.1	計		23.6

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東芝	IC旅券作成機の機器借料	425.3	随意契約	—
2	(株)東芝	IC旅券作成機の機器保守料	248.6	随意契約	—
3	東芝ファイナンス(株)	IC旅券作成用入力機の機器借料	79.1	随意契約	—
4	日立キャピタル(株)	IC旅券用交付窓口端末の機器借料	57.1	随意契約	—
5	(株)東芝	IC旅券用交付窓口端末の機器保守料	23.6	随意契約	—
6	東芝ファイナンス(株)	IC旅券作成用IC書込装置の機器借料	21.2	随意契約	—
7	(株)東芝	IC旅券作成用入力機の機器保守料	17.9	随意契約	—
8	(株)東芝	IC旅券作成用IC書込装置の機器保守料	14.1	随意契約	—
9					
10					